

検査部へ提出された患者検体を利用した保健学部門検査技術科学専攻での学部卒業研究の教育および大学院教育について

●はじめに

保健学科検査技術科学専攻では臨床検査技師教育を行い、病院検査部などで臨床検査技師として働く技師教育および臨床検査関連企業の研究職への教育を行っております。

臨床検査では医学や科学の進歩により、新しい検査診断法のため臨床検査の開発が行われております。学部卒業研究および大学院生研究では各種の病態を解析し、その解明に必要な検査法の開発や改良などの研究を行っております。検査終了後の残余の各種疾患の患者試料を用いて開発した検査法の診断特異性を評価することにより、患者様や医師に信頼性の高い生体情報を提供することができます。これらの研究を通して学生は臨床検査学を学び、国民の医療に貢献することができます。

●対象

試料は平成23年1月31日までに既に検査が終了し、九州大学病院の検査部に保管されている残余検体（血液、血漿、血清、尿、体腔液及び喀痰）を連結不可能匿名化して用います。

●研究内容

本学の学部学生および大学院生の臨床化学研究室において患者試料の血液及び尿を用いて、血液中コリン濃度、各種リン脂質濃度、各種蛋白濃度、アミノ酸や各種代謝産物濃度、赤血球ホスファチジルエタノール、ホスファチジルエタノール（アルコールマーカー）及びその他生体成分濃度や酵素活性の測定法を開発し、その臨床的意義を確認するために使用する。

●患者様の個人情報の管理について

本研究では個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除した残余血液・血清・尿を用い、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

●教育期間

教育を行う期間は承認日より平成26年3月まで。

●医学上の貢献

新しい検査法の開発や改良への研究を通して、医師の診断、その予後や治療効果の判定などの医療行為の信頼性を向上させることができます。またこれらの研究を経験することにより、病院検査部や臨床検査関連企業で新しい検査法の開発や種々の患者様の病態解明に貢献することが可能となり、臨床検査学が医療や健康維持に貢献すると考えられます。

●研究機関

九州大学大学院医学研究院 保健学部門検査技術科学分野

検査技術科学分野主任教授 大澤 進

副主任助教 外園栄作

九州大学病院 検査部

検査部部长 康 東天

検査部技師長 栢森 裕三

連絡先：〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学大学院医学研究院 保健学部門検査技術科学分野

検査技術科学分野主任教授 大澤 進

Tel 092-642-6712